

交流文化学科		教授	北野 収	大学院の授業担当 有
教育活動				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	講義の工夫①	2013年度現在	講義科目においても、部分的にグループディスカッションを採り入れている。	
2	講義の工夫②	2013年度現在	講義用のパワーポイントには、全て情報について出典を明記し、オリジナル情報にアクセスした、さらなる学習への道を確保。同時に、学生が論文・レポート・プレゼン資料を作成する際の引用標記、文献リストの重要性についても理解を促す。	
3	演習の工夫	2013年度現在	ゼミ活動による学びのコミュニティ構築と並行させる形で、ゼミ生には定期、不定期の個別面談を義務付け、教員との「対話」を通じた研究への動機づけを図っている。	
4	英語専門講読の工夫	2013年度現在	「英語専門講読」において、発表者への事前面談を義務付けており、質問に答え、不安や心配を取り除いた形で、発表に臨めるようサポートをしている。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
1	『共生時代の地域づくり論』(農林統計出版)		学生との対話型教育を通じた卒論指導・ゼミ活動の集大成として出版した論文集、教育記録。対話型教育の方法に関する論考を収録した教育資料としての意義も有する。	
2	「第8章 自分のテーマを2年間かけて卒論に仕上げる」関西地区FD連絡協議会・京都大学高等教育研究開発推進センター編『思考し表現する学生を育てるライティング指導のヒント』ミネルヴァ書房	2013年4月	対話型教育と学びのコミュニティづくりの技法を、FD教材用に紹介した。	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
1	学生の潜在能力と対話型教育—卒論・ゼミ指導の9年間の経験から	2011年1月8日	関西地区FD連絡協議会主催/京都大学高等教育研究開発推進センター共催ワークショップ「思考し表現する学生を育てる—書くことをどう指導し、評価するか?—」講師(京都大学)	
2	学生の潜在能力と対話型教育	2011年3月	「獨協大学外国語学部FD講演会」講師	
3	ゼミ運営と卒論指導～対話型教育で作る学びのコミュニティ～	2012年5月24日	「京都外国語大学 2012年度第1回学内FD研修会」講師	
4	思考する学生を育てるゼミ・卒論指導: 学びの共同体づくりと対話型教育	2013年2月15日	「神戸大学国際文化学研究所FD講演会」講師	
5	大学におけるライティング指導の諸問題(仮)	2014年2月23日	大学コンソーシアム京都 FDフォーラム講師(龍谷大学)	
4 その他教育活動上特記すべき事項				
学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)				
年月日		活動内容		
～現在		日本国際地域開発学会・理事		
～現在		日本協同組合学会		
～現在		共生社会システム学会・理事		
～現在		農村計画学会		

交流文化学科	教授	北野 収	大学院の授業担当 有
～現在	国際開発学会		
～現在	日本NPO学会		
2010年4月～2013年3月	社団法人国際農林業協働協会 アフリカ等農業・農民組織活性化支援事業・評価 検討委員会・委員		
2010年4月～2012年3月	慶應義塾大学 東アジア研究所・研究員		
2006年4月～2011年3月	社団法人国際農林業協働協会 海外農林業協力NGO等活動促進事業企画審査 委員		
その他			
受賞： 2009年度日本協同組合学会賞学術賞(2010年10月) 第7回日本NPO学会賞優秀賞(2009年03月) 2003年度日本国際地域開発学会奨励賞(2004年11月)			